

知財の広場

知財ミックス戦略

“知財ミックス戦略”とは、特許・商標・意匠・著作権・営業秘密などの複数の知的財産権を組み合わせて、製品やサービスを多面的に保護し、競争優位を築く戦略です。

複数の知財権の組み合わせの相乗効果により、模倣品への対抗力が高まり、単独の権利よりも強固な防御が可能になります。例えば、特許権が切れても、権利期間の長い意匠権やブランド価値を維持できる商標権にて、製品ライフサイクル全体をカバーできる可能性があります。また、著作権や営業秘密で長期的な差別化を図ることも可能です。

知財ミックス戦略を導入するには、まず自社の技術・デザイン・ブランド資産などの“棚卸し”です。社内の知財部門や専門家との連携も必要です。

中小企業やスタートアップにとっても、知財ミックス戦略は有効です。限られた資源の中で、知財を戦略的に活用することで、競合との差別化や資金調達時の評価向上にもつながります。

知財ミックス戦略は「守り」ではなく、「攻め」の経営戦略でもあり、自社の技術・ブランド・デザインを最大限に活かすために、知財をどう組み合わせるかが重要です。これから時代、知財は単なる権利ではなく、企業価値を高める「資産」です。

“知財ミックス戦略”で未来を切り拓いてみませんか？

知財ミックス戦略

(複数の知的財産権を活用)



特許権
<技術保護>

意匠権
<デザイン>

商標権
<ブランド>

著作権
<表現物>

営業秘密
<ノウハウ・情報>

製品・サービスの保護・模倣防止
差別化・ブランド強化



競争優位性の確保・収益向上